

当社幹部を委員としている品質・安全委員会で、品質・安全に関する経営的諸問題を幅広く審議しています。この社内コミュニケーションの仕組みを活用して、全社的な活動として海外MOX燃料調達を進めます。

トップマネジメントおよび管理責任者がより効果的に指揮・管理を行うために、今後、重要な意思決定に係るトップ（管理責任者を含む）の指示事項を記録すること、および重要な社内標準を改正する場合は事前にその改正方針を策定することによって、トップの意思を明確に組織内に伝達し、共有することとします。

2.3 資源の運用管理

品質マネジメントシステムを効果的に運営していくためには、それを支える要員の力量が特に重要であるため、当社では、体系的な研修計画に基づき、要員を養成し、力量の管理を行います。

海外MOX燃料調達については、これらに加えて監査員、検査員の資格を定め、必要な要員を確保します。

JEAC 4111-2003 に対する理解を深めるため、原子力安全に関連する業務に従事する要員に対する品質保証の教育について、これまで JEAC 4111-2003 のベ - スである ISO 9001:2000（品質マネジメント規格）に係る研修や社外の専門家の指導を受けて取り組んできましたが、より一層の理解を深め、品質保証活動を充実・強化していく必要があるため、受講対象を拡充し、研修計画を以下のとおり見直しました。

- 品質マネジメントシステムにおける経営者の役割は非常に重要であるため、社長、管理責任者、副事業本部長、若狭支社長、発電所長等の管理者層を対象に、品質保証に関するトップセミナーを実施しましたが、今後とも継続して実施します。
- 本店、若狭支社および発電所の主要な管理職、品質保証・海外MOX燃料調達・原子炉施設保安規定の担当者については、専門家を養成するための「ISO 9001 審査員研修」を平成16年度末までに全員受講させ、その後も新規対象者に継続的に実施します。
- 「ISO 9001 審査員研修」の受講者以外の内部監査員候補者（原子燃料部門は全員）については、受講対象を拡大して「ISO 9001 内部品質監査員養成研修」を平成16年度末までに全員受講させ、その後も新規対象者に継続的に実施します。
- 要員全員に対して、社内イントラネットを通じて自主研修する「e ラーニング」を活用して品質保証に関する知識の定着を図っています。また、今後定期的に職場内研修を実施します。